

日刊 磐城時報

編輯 石城郡平町 田 弘 成
印刷 石城郡平町 田 弘 成
發行 石城郡平町 田 弘 成
電話 石城郡平町 田 弘 成
廣告料 一月 十元 三月 三十元 半年 六十元 一年 一百元
訂費 一月 二元 三月 六元 半年 十二元 一年 二十元
零售 每份 五分

藝妓演藝大會

空前絶後の人氣

出演藝妓七十餘名

本社主催同業藝妓新聞社並に常らうと察せられてゐる、演藝出
聲毎日新聞社後援の藝妓演藝大會の如く、尙ほ番外として上
會は平地方に於て嘗て試みられ演ずる端、小唄その他も観客
なかつた計劃であるため平藝妓の意に添ふであらうと察せられ
屋組合でも熱心なる賛意を寄せてゐる。
特に大衆向きの演藝として

- 一、長唄 鶴 龜
- 二、常盤津 磐城四季遊
- 三、清元 六 玉 川
- 四、長唄 浦 島
- 五、義太夫 日 吉 丸
- 六、清元 四 君子
- 七、長唄 元 祿 花 見 踊
- 八、磐城大漁節
- 九、新 劍 劇

意自慢の華やかなもののみ
び、之に當てるに出演藝妓
余名を選び、去る三月十八
來平町町町々々喜亭を練習
して熱心に練習をつづけつ
つたが、愈々開演日が明後
六日に迫つたので昨四日は
習を行ひ今五日は會場なる
館に於て最後の練習をなし
今回の演藝大會は時恰かも
を控へてゐるので非常な人
博し今日の練習に際しては
なくの見物人で雑踏を極
程であるから明六日開演の
空前絶後の人氣を博すであ

平、小名濱間の 自動車専用道路

総工費約四十萬圓 すでに實測を終る

石城郡赤井村から永戸村合戸に
する事になるらしく認可と同時に
株式組織として開始する模様
で目下各種の準備を急いで居る
今回小野平氏等が發起となつ
た。平町を起點として飯野、鹿
島、玉川各村を貫通して小名濱
町に至る幅四間の自動車専用道
路は、いよいよ實測も終了し近
認可申請の手續を取ることに
なつたが、この専用道路が開通
することになれば平、小名濱間
にわづか二十分内外の短時間に
依つて連絡されることになり従
來不便であつた交通に一改革が
行はれるので非常に各方面から
期待されて居る、なほ右道路開
設に要する總工費は目下秘密に
附されて居るが約四十萬圓を要

現在の情勢では 圓滿に解決せん

鮫川疏水復活問題で 來平した伊藤事務官談

石城郡鮫川江筋復活問題について居して居た傳へられ同中腹以
ては既報の如くであるが同江筋
管理事務官は去る三日來はこ
平復活に關する各方面を視察
を行ひ四日午後二時四十分平
發歸したが、右江筋復活問題
について左の如く語る。
江筋の復活は最も重大問題で
あるが鮫川水電からの回答が
未だに來ないので何れ共決定
するに至らない、鮫川疏水水
利組合の存亡の鍵を握る水電
側に対しては目下交渉を進め
てゐる、水電側としては水電
自身が組合からの要求額十萬
圓全部を支出することは困難
な立場にあるが相當有力なる
後援者が出たらしいから遅く
共今月末ころ迄には誠意ある
回答が得られ組合の要求が満
たされるものと思はれる、な
ほ組合側では相當強硬論者も
あるが目下の状態から見て何
んとか圓滿に解決されるもの
と見られる。

四年度事業として 神谷農事試験場の計劃

農事試験場石城分場では四年度全廢して全部一代雜種を普及せ
新事業として四大試験を行ふべしめることなる野菜品種改良
目下諸般の準備を急いでゐる
第一の試験は柿の隔年結實試験
で隔年結實を如何にして防止す
るか従来の剪定法は不完全であ
るため肥培法に依つて防止し得
るか否かを試験するものである
第二の試験は果樹の接木に當つ
てだいたいの各種類に依り接木す
る種類が如何なる状態で發育す
るかその結果収量品質は如何、
第三試験は品種試験で茄
平署で犯人殿探中のところ同礦
坑夫山形縣置賜郡北小國村生れ
木村俊作(二二)の所爲と判明郷
里に潜伏中取押へられた。

鹿島村議總辭職

改選期繰上げのため

石城郡鹿島村では來る六月二日廿一日付で村議新妻一外十一名
に執行される村會議員選舉に對が辭職書を縣に提出したがこれ
に折悪く農繁期に相當して居るに刺戟されて今後同様の町村
ので支障を來すため一箇月繰上げ五月二日に執行するため三月

直ちに御用

新海縣中蒲原郡新津町生れ當時
住所不定三星鐵太郎(四三)は二
日前九時頃植田町下町の竹松
方の留守宅に忍び込み衣類現金
等を窃取直に御用となる。

由緒ある 高久の古跡

石城郡高久村字高久にある小鐵
治山は幾百年か前アイヌ族が穴

妻と云ふ人の座せるが如き石
がある、この石は同地の漁師
松川與作と云へる者が漁に出
たま、歸らぬため子思ひの典
作の歸るのを待ち遂に化石と
なつたものであると傳へられ
前の千五穴と共に高久村の歴
史を飾る古跡となつて居る、
又石城郡から北海道に移住し
た人々がアイヌと會へば必ず
かれ等は我等の祖先は高久の
海濱に住居して居たのである
と幾百年か前の祖先の墳墓を
敬ふといふことを見ても同所
附近はアイヌ族が穴居生活を
してゐたといふことがうなづ
かれる。
この歴史上の資料となるべき地
が荒れるに委せて深く研究した
ものがなかつたのを最近に至り
同地方の心ある人々は跡の絶え
ることを憂へ同所を國家の保存
地帯とすべしと唱ふるに至り目
下寄々協議を進めて居る。

藝妓演藝大會

於聚樂館

御招待券

(御一名限り)

四月六日

午後六時から

主催

磐城時報社

細 國をまよりの礎や

▲春「春來れば霞たづ町おんないの、背戸の櫻をせなが見て、やがてよ
んのく咲くべめでいふ」花の盛りは松ヶ岡きつれて連て行くさきは、
蔭ふむばかり近けれど、誰がするにけむ勿來の關、わやくな風の越ぬ
間に、さつさ行こやれ櫻狩、山も都のゆきとて、花見小袖の伊達く
らべ

▲夏「さつき五月雨苗代水に笠の浪立つ早乙女が、聲はり上げて歌ふに
は「御家御馳走の初の田植、はしり松魚に濁酒、ほい／＼／＼、植た
ばかりに鎌田川、さつても氣早い瀬が逸い、岸邊につごふ夏の夜の
「螢がりにもますべいな刈て嬉しいとよ年の稻の上なる尼子橋、その
夕暮を來て見れば、袂涼しく風薫る

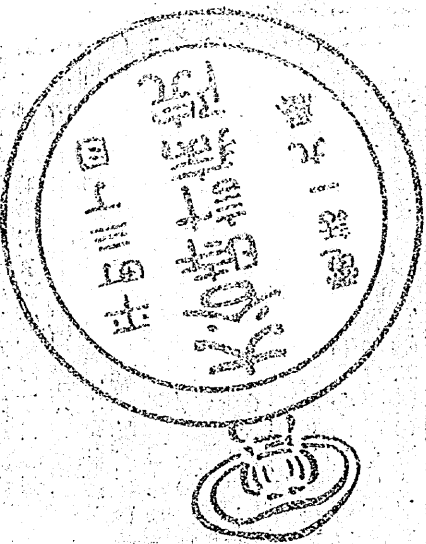
▲秋「露のたてぬき織はえし萩の錦は物見ヶ岡、そのたちおろしゆきた
けも、大館城や平城、ふるきむかし跡訪へば、玉と砕けしつはもの
が、血潮に染めしかたみとて、今も紅葉のてり葉して「赤井嶽には暗
がない、月の出ぬ夜は海邊より龍の灯火通ひ來る、乙姫さんのお供と
て、鯛や黒からかながしら、かつを赤えに鮑鮓、かれいひらめが網に
入る、ひげや／＼七濱の、地曳の聲を勇ましき

▲冬「その繁昌の惠比須講、「これのお家の御吉相、大判小判の賣上げ
を千兩箱にはかりこみ、旦那さん大盃の末廣を、十百兩で買ひますべ
い、「お酌は花嫁おかめづら、まん丸姿で腹てつかいやんがて落して
御子孫は、いつも動かぬ大長者、飲めや踊れや酒あがれ、受ける盃な
か見てあがれ、鶴と龜とが舞遊ぶ、鶴と龜とが舞あそぶ「しめろヤレ
目出度さよ」夕されば沙風こして千鳥啼く「野田の玉川たまさかに、
逢ふをたのみの三樂師、待つにこぬみの濱とは否よ、堅い契は磐城富
士、「雪に風情は湯の嶽や、麓に烟立昇る、三箱のみゆの賑ひは、木
かやも靡くばかりなり「げにや治まる御代の徳、商工開らけ國富て榮
え行くこそ樂しけれ、榮え行くこそ樂しけれ。

七濱大漁節

「開け行く御代を守りの神垣や、舳にのぼる朝日影、長閑に霞む浦々の
渚につごふ派手姿、沖のかもめが飛かふむれの一三四打つれて、い
つれあやめかかきつばた引ぞはづらふ姫小松なまめく聲に鯉買はんか
買はしやせぬかいなユ、大漁ぢや／＼「うかれ／＼て來りけり。

- 一ツトセ 曳けやひげ／＼地曳あみ
- 二ツトセ 船にたてたる赤旗の 中や黄金の櫻鯛 コノ大漁船
- 三ツトセ 見惚れる様な鯛鯉 續く七濱大繁昌 コノ大漁船
- 四ツトセ 夜明けからすど出船歌 金と銀との船もよふ コノ大漁船
- 五ツトセ いつも賑ふ片濱の 大漁／＼となり響く コノ大漁船
- 六ツトセ むかしも今も間祝ひは いからつらなる漁師町コノ大漁船
- 七ツトセ 名に負ふいはきの七濱は 鶴と龜とのすそ模様 コノ大漁船
- 八ツトセ 八重の潮路にとる鯨 ほんに黄金の無盡藏 コノ大漁船
- 九ツトセ 戀もお金も一筋に ゑんや／＼とひき上るコノ大漁船
- 十ツトセ 遠く名譽のかがやくは 櫓拍子揃えて勇ましいコノ大漁船
- 實にも嬉しき海の幸あまつ乙女の舞ひ遊ぶ 岩城名産鯉節 コノ大漁船
- 平の町こそ目出度けれ



新編 大漁 大城 磐
 新編 大漁 大城 磐
 新編 大漁 大城 磐

| | | | | |
|---|--|--|--|---|
| <p>◆安來節、二八ん返し</p> <p>夫太義 丸吉日 三味線 太夫 甲子 秀美</p> | <p>唄 長 浦 絃三 同竹品竹 同竹真竹 竹ののの</p> <p>島 浦 ののの 家澤家 家家家 家</p> <p>花お小小 文お小磯 福秀川</p> <p>か かし 奴 奴 勇</p> | <p>清元 六玉川</p> <p>津遊 盤季 常四 磐城 磬</p> <p>絃三 湖開三品叶 榮山竹湖吉 久谷三山湖仲</p> <p>好 形の野 島形</p> <p>月花家澤家家家月家 本口家屋月家</p> <p>小高琴小小 榮小お助長 お駒千い豆一</p> <p>南助治光玉 歌鯉六松 半勇成子蝶助</p> | <p>夫太義 森ケ鈴</p> <p>三味線 太夫 福清 谷口 秀子</p> | <p>唄 長 龜 鶴</p> <p>物鳴 絃三 唄</p> <p>吉開品 真三二榮米林品 真甲開福湖同橋</p> <p>野 佐の島葉 家の家京家澤 家子花清月 家</p> <p>千桃蝶 春百榮富榮小 小升花と月花筆</p> <p>合 太 し ん</p> <p>松子々 太子葉 彌郎光 ん美榮子子香助</p> |
| <p>◆磯節、たけさ節</p> <p>三味線 唄 踊 大 大 大</p> | <p>新編 大漁 大城 磐</p> <p>絃三 玉湖吉甲 開仲樂福 品開吉竹橋久谷玉</p> <p>野の 野の</p> <p>川月家子 花家家清 澤花家家家本口川</p> <p>鶴月長升 花福榮と 三貞金鶴千ほ喜玉</p> <p>江子松美 榮助 子郎丸郎代丸ん子代</p> | <p>唄 長 元 清</p> <p>踊 見 花 祿 元</p> <p>絃三 橋林久竹三 橋榮久甲湖 玉谷玉谷開品</p> <p>の好 の好</p> <p>家家本家家 家家本月子 川口川口花澤</p> <p>花榮い小光 筆榮清升月 政文茶政花お</p> <p>香郎子や惠助 奴美子 榮勇目勇九子</p> | <p>元 清 子 君 四</p> <p>絃三 久竹三 久榮玉谷 開久仲真品久</p> <p>の好 佐の</p> <p>本家家 本家川口 花本家家澤本</p> <p>い小光 清榮小秀 桃小一富蝶お</p> <p>くつ 夜寸 は</p> <p>子や惠奴 糸勇子子助丸ん</p> | |

藝妓演藝大會番組
 四月六日午後六時より
 主催 磐城城
 後援 磐城城
 常磐毎日新聞報社

常磐労働運動の進むべき道

(下) 黒澤市之輔
斯くして久しく彼等の爲めに引摺廻された常磐の大衆も漸く自覚し、茲に日本労働総同盟の指導精神に復歸し、労働者組合運動の本然に立ち歸るべく、擧つて日本大衆黨並に日本坑夫組合を脱退し、常磐炭礦夫組合を結成し、政治的には社会民衆黨を支持するに至つたのである。

従來常磐の大衆が彼等の爲めに如何に苦しみ、そして社会民衆黨参加を如何に馳望してゐたかは今回の常磐炭礦夫組合が、社会民衆黨支持を決定して以來、労働者は云ふまで

鳥柳天節 御料理 井川

仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り

鰻 魚 蒲焼 榮
電話四二四番

もななく一般小市民階級までが續々と社会民衆黨の旗の下に馳せ参つてゐる事實に見てもはつきりわかるであらう。少く共今後の常磐の大衆を指導し、大衆の要求を容れて組合をよく指導して行くものは右翼のみである。即ち日本労働同盟のみが常磐の大衆の指導者たり得るのだ。更に政治的には社会民衆黨のみが常磐の覇者たり得るのだ。今こそ常磐の大衆が憤起するの秋だ、我々の新しい進路を開拓するのだ、我々の新しいスローガンを高く掲げて進むべき最後の終点まで進まう。大右翼結成に依つて取ひ取れ我等の陣容を!

藝妓演藝大會

愈々六日 午後六時開演

美妓七十余名出演

演藝番組

- 一、長 唄 鶴 龜
- 二、義太夫 鈴 森
- 三、常盤津 磐城四季遊
- 四、清 元 六 玉 川
- 五、長 唄 浦 島
- 六、義太夫 日 吉 丸
- 七、清 元 四 君 子
- 八、長 唄 元 祿 花 見 踊
- 九、磐城大漁踊
- 十、新 劍 劇

▼番外 安來節、二へん返し

追分磯節、おけさ節

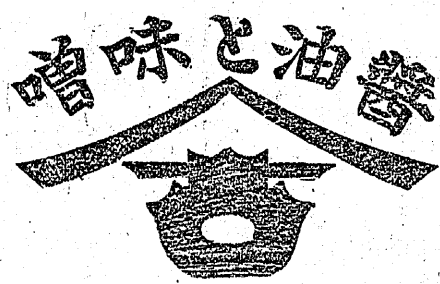
二上り新内、槍さび

◎當日は満員の豫定ですから早くと出でを願ひます。

於 聚 樂 館
主催 磐城時報社
後援 磐城新聞社
常磐毎日新聞社

磐城共済病院組織

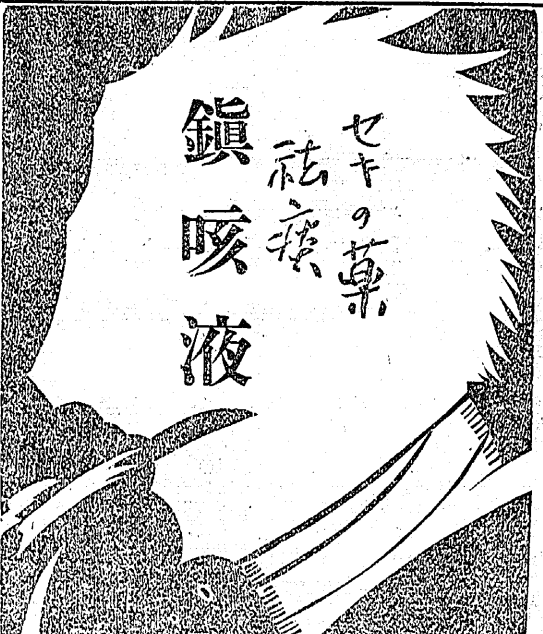
内科 小兒科 (院長毎日診療)
院長 醫學博士 難 波
副院長 醫學士 五十嵐 雄
内科部長 醫學士 中 西 林 藏
外科 内臓外科、整形外科、レントゲン科
外科部長 醫學士 鈴木 憲 介
毎日手術 醫學博士 鈴木 退 輔
産婦人科 女子泌尿科、レントゲン科
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄
顧問 醫學博士 川 添 正 道
X光線科
主任 醫學博士 難 波
本院醫事法制囑託 法學士 岡 澤 忠 治
本院主事 賀 澤 治 蕃 睦
◎御大典記念事業トシテ
一、衛生試験所 (共済病院内) 十一月一日ヨリ開始
一、病氣相談所 (共済病院内) 十二月一日ヨリ開始
一、救 療 所 (共済病院内) 十二月一日ヨリ開始
平 南 町 磐 城 共 済 病 院
電話六四一番
◎入院自炊ノ便アリ ◎看護婦見習募集



福島縣平町 山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話(下谷)五七二番
電話(下谷)六八三二番

来る廿廿一日兩日平町に於て花柳病撲滅展覽會無料公開但し中等學生以上に限る先着五十名限りルーテサツク無料提供
主催 宇佐美藥局

營業種目 石炭、コークス、玉炭
磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル
◎磐城炭礦ノ最上石炭
正味十貫目入 壹俵 金六十五錢
◎日本デ一番評判ノ良イ東京瓦斯コークス
コークス 壹俵 金壹圓參拾錢
◎木炭ノ三倍御徳用ナリノ玉炭
玉 炭 大箱壹箱 金貳 圓
▼配達ハ一俵ヨリイタシマス
平 驛 前
電話二三七
阿部石炭商店



セキヤク 止咳液
特約藥局 關內藥局
電話四〇四番 目丁四町平

謝恩第二回特別大興行
四月四日替り
市川右太衛門主演 原作大路廣 監督長尾忠雄
提供 白帆はらぬる 全八巻
高堂國典、春等靜子、川端繁、中村吉松、巴蝶子、嵐巖當
東京大阪毎日新聞所載 原作三上於菟吉先生
名作 激 流
岡田時彦、中野英二、島耕二、入江たか子、高木永二、小杉勇、夏川静江、三樹豊
雜誌(富士)連載 原作三上於菟吉先生
連續時代映畫の粹
二部 落花劍光録 全九巻
澤田清、櫻井京子、中村英雄、澤蘭子、淺香新八郎、常盤操子
爲謝恩 金十錢 日活 平 館
普通席